

1 ねらい

新入生は〇〇中学校に入学した喜びにあふれている。その中には、中学校生活に対する期待と不安も入り交じっている。

そこで、オリエンテーション期間は、次のことをねらいとして指導していきたい。

- (1) **〇〇中学校に入学した喜びをもたせ、〇〇中生としての自覚をもたせる。**
 - * 先輩たちの姿・行動から〇〇中の伝統や素晴らしさを感じ取らせ、〇〇中学校の生活に積極的に適応・参加していこうとする自覚をもたせる。
- (2) **新たな自分の歴史が始まることを認識させ、広い視野にたった目標をもたせる。**
 - * 小学校時代の反省を踏まえながらも、それにこだわることなく、新しい生活の中で自分の限らない可能性を発揮することに全力を尽くさせる。そして、自己実現を図りながら、自然に集団に適応していくようにさせる。
- (3) **学級目標の決定・学級組織や班の編成を通して、生徒同志・教師と生徒の相互理解を深めながら、好ましい人間関係を形成していく基盤を作らせる。**
 - * 担任団が生徒の活動や意欲を適切に評価することによって、自分の持てる力を望ましい学級や学年を築くために役立てようとする意欲をもたせる。
- (4) **中学生として身に付けなければならない基本的生活習慣やルールを理解させ、実践をとおしてしっかりとした中学校生活を送らせる。**
 - * 〇〇中生として身に付けるべき基本的生活習慣やルールは決して特別なことではなく、集団生活の中では当然でなければならないことであることを強調する。また、それらが自分だけでなく集団全体にかかわっていくことを認識させる。
- (5) **生徒相互・教師と生徒の人間関係を親密にし、信頼関係の中で安定した中学校生活を送れるようにさせる。**
 - * 生徒相互・教師と生徒の交流の機会を工夫し、相互理解を深め、ともに新しい気持ちで夢や理想を追求・実現していこうとする関係を築かせる。
- (6) **父母との連携を密にし、学校・担任団と父母とが一体となって生徒を育てていくことを確認する。**
 - * 学級開きや学級PTAの場、学年通信などをおして、学校と父母相互の意思疎通を図っていく。

2 指導上の留意事項と具体的指導場面

- (1) **中学校生活は、新しい自分を作る・自分を変えるチャンスであることを強調する。**
 - * 新しい出会いを大切に、担任団も過去を問わずこれからの生活で生徒たちを理解していくことを確認する。入学式、学級開き、学年集会など
- (2) **上級生の言動・姿から、〇〇中学校の伝統や校風を感じ取らせる。**
 - * 入学式前の先輩の動き、入学式での合唱や態度、対面式での生徒会活動の紹介・合唱・応援歌、朝夕の挨拶、学級掲示、短活見学などで上級生の素晴らしさを学ばせる
- (3) **生徒相互・教師と生徒の人間関係を親密にするための機会を工夫する。**
 - * 「生活の記録」をおしての対話、「自己紹介カード」の活用、昼食での巡回による対話、学級組織作り、学年レクでの交流など
- (4) **基本的生活習慣を徹底して身に付けさせる。**
 - * 記名（学習道具類全般）、時刻厳守、服装（名札・バッジ）、提出物、忘れ物、挨拶、時と場に応じた言動など
- (5) **〇〇中学校1年生としての決意と自覚をもたせる。**
 - * 学級での自己紹介、中学生になったの決意作文など
- (6) **安全で健康な中学校生活を送るための注意事項を把握させる。**
 - * 自転車走行テスト、健康診断、給食の準備と食事のマナー、休憩時の過ごし方、登下校の交通安全など
- (7) **学習における不安を取り除き、継続的・計画的な学習習慣を身に付けさせる。**
 - * 「学習のてびき」等の利用、「生活の記録」をおしての家庭学習指導、教科のオリエンテーションをおしての指導など
- (8) **家庭との連携をうまく図る。**
 - * 学級開き、学級PTA、学年通信の効果的な利用など。

● 第1学年の年度初めのオリエンテーション期間における「ガイダンスの機能を生かした学級活動」と他の教育活動との関連を図った指導展開の具体案

	第1日目	第2日目	第3日目	第4日目	第5日目	第6日目	第7日目
短話		提出物確認	先生や仮の係が進行と連絡をする			正式の係が進行と連絡をする	
1	体験入学の際に、入学式練習を行う。 ・校舎見学や授業参観、部活動見学 ・入学式での代表あいさつの生徒への指導	学級活動1 中学生になって ゲーム形式を取り入れて抱負発表や自己紹介を行う	教科①	教科③	教科⑦	教科⑪	道徳
2		学級活動2 中学校とは何か 生徒会 学級など	教科②	教科④	教科⑧	教科⑫	教科⑮
3		対面式 ・中学校生活のしおり ・生徒会誌 ・生徒手帳	交通安全教室		教科⑨	教科⑬	教科⑯
4			教科⑤	教科⑥	教科⑩	教科⑭	教科⑰
昼食		仮の班ごとに楽しく昼食をとろう 生徒同士の触れ合いの機会を多くもつよう、配慮する				正式の班で昼食の準備をしよう	
休憩		たくさんの人と話をしよう／名前を覚えよう				学級の友達と交流を深めよう	
5	入学式	学級活動3 中学校とは何か 学習と生活 保健室利用	身体測定	学級活動4 学級目標作り	学級活動5 学級組織作り1	オリエンテーション 総合的な学習の時間	学級活動7 選択教科の選択
6		上級生の清掃や短学活、教室掲示を見学する		具体的な評価 のを考慮する	学級活動6 学級組織作り2		2年生の先輩の体験談を生かす
清掃	・担任方針あいさつ ・諸連絡	3年生の清掃見学 2年生の短学活見学	3年生の短学活見学	仮の班で清掃に取り組む	正式の班で清掃活動に取り組む		
短話				仮の係で進行や諸連絡をする		正式の係が進行と連絡を行う	
連絡事項等	・自己紹介カード ・生徒手帳配付 ・「こんな学級がいい」を宿題に		・「こんな学級がいい」のアンケート結果を配付 ・学級目標の案を考えてくる	・自分がやってみたい役職を考えておく	・放課後に学年生徒会の組織を確立	・中央委員会 ・学年執行部会	こうした指導展開の案を、入学式の日 に生徒に提示して、活動の見通しを もたせておきたいものです。

「注1」 図中の矢印は、各活動のつながり・発展の方向を示す。「注2」 学級活動の白抜き数字は、「発表資料」【表5】に対応する。

2- (2) 第2年のガイダンスの機能を生かした学級活動の指導計画案

(※ 16、17頁見開きで)

月	主な行事	第2学年			題材グループ名	■：指導のねらい ◎：指導の方法 ▲：指導の留意点
		題材名	活動種	記号		
4	・始業式 ・入学式 ・生徒会オリエンテーション ・3年修学旅行 ・応援歌練習 ・体育祭	1 2年生になって	ア、ク	◎	自分を伸ばす学年に	■ 2年生の生活を始めるに当たり、新たな希望を描かせ、一層充実した生活を送ろうとする態度と心構えをもたせる。 ■ 中堅学年としての立場と役割を自覚させ、学級集団の連帯や向上を図らせる。 ◎オリエンテーション計画による指導。 ▲ 2年生の生活の流れを理解させ、希望や抱負を生かすための学級目標や学級組織作りに意欲的に取り組ませる。
		2 学級目標を決めよう	イ、ク	○		
		3 4学級組織作り	イ、ク	○		
		5 選択教科で自分を伸ばそう	ク、ソ	◎	選択教科で自分を伸ばそう	■ 選択教科のねらいを確認させ、自分の興味・関心に合わせた選択をさせ、意欲的に取り組もうとする態度を養う。 ◎先輩の体験記を基にしたグループ討論。 ▲ 選択教科の学習のあらましを理解させ、選択の可能性(幅)を広げさせる。
		6 体育祭に向けて	ア、ウ	◎		
		7				
		5	・生徒総会 ・中間テスト	8 自分を高める学習	ス、セ	◎
9						
10						
6	・地区中総体 ・期末テスト	11			将来の生き方と学習	■ 各自の学習の取り組みを振り返らせ、自分に合った学習方法を考えさせて、意欲的に学習に取り組む態度を育てる。 ■ 望ましい職業観や勤労観の基礎を培い、職業的・社会的自己実現を目指す。 ■ 勉学や進学の意味及び生涯学習について多面的に理解させる。 ◎聞き取り調査(インタビュー)、パネルディスカッション、ジグソー学習 ▲ 人は何のために働くのか、「生き方」について考えさせ、望ましい勉学観と生涯学習の心構えをつくらせる。
		12 人はなぜ働くのか	タ	◎		
		13 人はなぜ学ぶのか	ス、セ	◎		
7	・県中総体 ・期末面談 ・終業式	14 一学期の学級反省		○	充実した学級生活	■ 中だるみといわれる生活に陥りがちな夏休み明けに、一学期末の反省を基に二学期の活動を決めさせ、目標をもって意欲的に活動に取り組ませる。 ◎一学期末反省を基にした話し合い。 ▲行事を中心として二学期の活動の見通しをしっかりとさせる。
		15 一学期の学年反省		○		
		16 夏休みの生活設計		○		
8	・始業式 ・地区陸上大会	17 夏休みの収穫		○	充実した学級生活	■ 中だるみといわれる生活に陥りがちな夏休み明けに、一学期末の反省を基に二学期の活動を決めさせ、目標をもって意欲的に活動に取り組ませる。 ◎一学期末反省を基にした話し合い。 ▲行事を中心として二学期の活動の見通しをしっかりとさせる。
		18 二学期の計画	ア、ウ	◎		
9	・地区新人戦 ・中間テスト	19 ボランティア活動	ケ	○	職業の世界	■ 多様な職業の中から身近な職業を取り上げ、職業の世界について理解させ、自分の希望する職業の実現に生かす基礎を築かせる。 ◎職業と産業の標準分類の活用、職場体験学習の事前学習。 ▲職業と産業の違いを理解させる。 ▲職業と産業の分類を理解させ、職業の内容と特色を調べさせる。
		20 職業とは何か	チ	○		
		21 職業の内容の調査1	チ	○		
10	・生徒会立会演説会 ・県新人戦 ・文化祭	22 職業の内容の調査2	チ	○	職業の世界	■ 多様な職業の中から身近な職業を取り上げ、職業の世界について理解させ、自分の希望する職業の実現に生かす基礎を築かせる。 ◎職業と産業の標準分類の活用、職場体験学習の事前学習。 ▲職業と産業の違いを理解させる。 ▲職業と産業の分類を理解させ、職業の内容と特色を調べさせる。
		23 文化祭の取り組み	ア、ウ	◎		
		24		○		
11	・県新人戦 ・(総合[発表会]) ・期末テスト	25 学ぶ制度の調査	タ	◎	学ぶための制度と機会	■ 将来の進学希望先に関する情報を学ばせ、その選択の視野を広めながら、生徒の進学希望をよりよく育てる。 ◎グループ毎の調査活動 ▲中学校卒業後の勉学の機会、その後の勉学の機会と支援制度について、生徒自らに調査・研究をさせる。
		26 中学校卒業後の学ぶ道	タ	◎		
		27 自分の力を高める	タ	◎		
12	・学期反省 ・期末面談 ・終業式	28			生き方を考えよう	■ 自己の急激な変化から生ずる不安や悩みへの対処法を考えさせ、充実した生き方をさせる。 ◎プレーストーミング。 ▲二学期の反省の中で、「今自分が悩んでいること」のアンケートを実施し、それを基に話し合わせる。
		29 二学期の反省		○		
		30 冬休みの生活設計		○		
1	・始業式	31 冬休みの反省と新年の決意	エ	◎	自分の適性、自分の進路	■ 自己理解の一層の深化を図り、進路計画を検討して、自分にふさわしいものに修正させる。 ◎進路適性検査、進路計画作り。 ▲適性の意味を理解させ、自己理解深化の方法を把握させる。その上で、進路計画の吟味や自己伸長への努力を促す。
		32 修学旅行の準備		○		
2	・期末テスト ・生徒総会	33 自分の適性	ス	◎	自分の適性、自分の進路	■ 自己理解の一層の深化を図り、進路計画を検討して、自分にふさわしいものに修正させる。 ◎進路適性検査、進路計画作り。 ▲適性の意味を理解させ、自己理解深化の方法を把握させる。その上で、進路計画の吟味や自己伸長への努力を促す。
		34 適性を生かす進路を選ぼう	ス	◎		
		35 進路計画の立案1	ツ	◎		
3	・公立高校入試 ・修了式 ・卒業式	36 進路計画の立案2	ツ	◎	3年生への準備	■ 2年生の1年間を振り返り、自らの成長点や今後の課題を明確にさせる。 ■ 3年生の自分をイメージさせ、最上級生としての心構えをもたせる。 ◎グループや学級全体での話し合い。ウェビングマップ。 ▲個人の生活の反省、グループや学級、生徒会、部活動などの取り組みの反省を確実に行わせ、最上級生としての心構えを話し合わせる。
		37 私の通知表	ア	◎		
		38 最上級生への心構え	ア	◎	3年生への準備	■ 2年生の1年間を振り返り、自らの成長点や今後の課題を明確にさせる。 ■ 3年生の自分をイメージさせ、最上級生としての心構えをもたせる。 ◎グループや学級全体での話し合い。ウェビングマップ。 ▲個人の生活の反省、グループや学級、生徒会、部活動などの取り組みの反省を確実に行わせ、最上級生としての心構えを話し合わせる。

「注1」 ◎印は、適応や選択にかかわりの深い題材、○印は、適応や選択にかかわりのある題材。

「注2」 題材名の右隣の「活動内容」の記号ア～ツは、5頁【表3】の活動内容例に示したア～ツに同じ。

適 応 に か か わ る 能 力			選 択 に か か わ る 能 力		
人間関係能力	感情統制能力	思考能力	問題解決能力	意志決定能力	情報選択能力
<p>1 新しい級友とのコミュニケーションを積極的にとり、相互理解の輪を広め、一層深める。</p>	<p>1 新しい学級や友達関係への不安を取り除く。</p>	<p>1 2年生としての希望や抱負をもつ。 2 こんな学級にしたいという願いや考えをもつ。</p>	<p>2、3、4 みんなの願いを基に、どんな学級をつくるか話し合い、自主的に学級目標/学級組織を決める。</p>	<p>2 2年生での目標達成に向けて、全力を尽くす決意をもつ。 3、4 中堅学年として集団活動に積極的に取り組み責任を果たす決意をもつ。</p>	
		<p>5 選択の理由を自分で考える。(体験期間を通して自分に合った選択をする。)</p>	<p>5 選択に迷った場合は、より多くの情報を求め、教育相談を受ける。</p>	<p>5 将来の生き方を考えながら、個性の伸長を目指して選択教科を選択する。</p>	<p>5 選択教科のねらいや教科の種類、授業時数などから、選択の可能性をとらえる。</p>
	<p>3 学習上の悩みや不安について客観的にとらえる。</p>	<p>12 自分は将来どんな考えや態度で働いたらよいかを考える。</p>	<p>3 学習の悩みや不安の解決で、どうすれば効果が高まり成果が上がるかを考える。 13 学ぶ目的を、将来の生き方や在り方と関連付けて考える。</p>	<p>8 解決策に基づいて信念をもって学習に取り組む。 12、13 将来、どんな態度で働くか、どんな生き方をするかの方角性を考える。</p>	<p>3 級友の体験などから不得意教科や学習上の悩みの解決法を取り入れる。 12 職業の要素を知り、自分の生き方を照らし合わせる。</p>
<p>18 問題解決のために互いの立場を理解し合い、認め合い協力し合う。</p>	<p>17 夏休みの生活や学習が不本意に終わっても、その気持ちを引きずらないように心掛ける。 18 全体の立場に立って考え、感情をコントロールする。</p>	<p>17 夏休みの目標や計画に沿って夏休みを振り返り、成果と課題を明確にする。</p>	<p>18 誇れる学級にするための具体的な活動を話し合っ決めて。</p>	<p>18 一人一人が自分の役割を理解し、互いに協力し合って学級生活を向上させる。</p>	
		<p>20 職業と産業の違いについて考える。 21 何を相手にしたり扱ったりしているかの観点から当てはまる職業を考える。 22 進路希望を実現するために、今の自分に何が必要かを考える。</p>	<p>21 職業の適性を展望し、自分の希望する職業について吟味・検討する。</p>	<p>22 職場体験学習の際に、自分の適性や希望と照らし合わせて職業を選ぶ。</p>	<p>20 職業の分類、産業の分類を理解し、職業認識を広める。 21、22 様々な職業の内容・特色、各職業に必要な適性を理解し、希望する職業の情報を収集する。</p>
<p>26 班の仲間と協力して調べる。</p>		<p>25 自分の進路選択に基づいた勉学の機会を考える。 26 自分の進路希望と対比しながら調べる。</p>	<p>25 中学校卒業後の上級学校の調査計画を立てる。 27 自分の進路計画を検討・吟味する。</p>	<p>27 進路実現への意志を強くする。</p>	<p>25 中学校卒業後の勉学の道を学校制度の系統図で理解する。 26 高校や専門学校等の教育の目的と種類・学科・課程、奨学制度を理解する。</p>
<p>31 級友同士で、互いに理解し、敬愛し、励まし合う中で、自分を高める。</p>	<p>31 悩みや不安を積極的に解決しようと自覚する。</p>	<p>31 今の学校生活を客観的に振り返り、今後どのように生活を充実させるかを考える。 33 自分の希望職業を適性の面から検討する。 35、36 2年生の進路学習の成果を生かす。</p>	<p>34 友達の特性を見つけることで、自己理解にもつなげる。 34 家族や友達の見解及び進路適性検査等を参考にして、自分の特色をまとめる。</p>	<p>33 自分の可能性を広げる決意をする。 34 自己の可能性を広げていく気持ちをもつ。 35、36 進路計画を修正し、望ましい進路計画を立てる。 35、36 強い意志で実現への努力を決意する。</p>	<p>33 適性の意味を理解する。 33 いくつかの職業を例に、必要と思われる適性を選択肢から選ぶ。 34 自己理解の深化を図る観点や方法を理解する。</p>
<p>37 この1年間の級友の努力を互いに認め合う。</p>	<p>37 不本意だったことも客観的に振り返る。</p>	<p>37 個人、学級、学校生活などのレベルで1年間を振り返り、3年生への課題を考える。 38 「中学3年生」から連想することを考える。</p>	<p>38 最高学年生としての心構えを話し合っまとめる。</p>	<p>38 最高学年生としての自分の心構え・抱負を固める。</p>	

「注3」白抜き反転数字の番号は、10頁の表の番号と同じ。題材名の前の番号とも一致し、どの題材でどの能力がかかわっているかを示している。

「注4」グレーの網掛けは、適応にかかわる要素が強い題材グループ。